

# グローバルな 社会的責任 (CSR)

当社は、グローバルCSRプログラムを通じて、途上国・新興国における疾病予防、医療従事者の育成、サプライチェーンの強化、質の高い診断と治療へのアクセス改善などに向けた活動を支援し、保健システムの強化に取り組んでいます。



## 当社のグローバルCSRの基本原則

### -支援するプログラムの選定に際して大切にしていること-

**フィランソピーの視点：**ビジネス上の利益を目的とせず、利益相反を回避し、レピュテーションの維持のための厳格なデューデリジェンスを行います。

**パートナーシップ：**協働するパートナーおよび地域社会に敬意を払い、信頼を育みます。

**長期的視点：**支援を受ける人々の立場に立ち、課題を見い出して解決していく人間中心のアプローチで、中・長期的なインパクトと持続可能性に焦点を当てます。

**イノベーション：**医薬品の創出だけでなく革新的な課題解決への取り組みを支援します。

**誰一人取り残さない：**タケダのCSRのインパクトが世界に広がるよう取り組みます。

**参加：**すべての従業員は変革の担い手となり、コミュニティと共に社会課題の解決を目指します。

2016年から毎年全従業員の投票によって、支援するプログラムを決定しています。2021年度からは、この草の根的な取り組みを推進するため、タケダの従業員からなる委員会「CSR Application Review Committee (CARC)」が発足し、20名のCARCメンバーが世界27カ国の非営利団体からの応募約100件の案件の中から最終候補を選出しました。最終的に支援するパートナー団体は、従業員投票の結果が反映されます。

2021年度、タケダの従業員投票により、[グローバルCSRプログラム](#)に新たな4つのパートナー団体が決まりました。

# 9億5,300万円

**IntraHealth International**がアフリカのマリ、セネガル、ニジェールの私立学校12校と提携してトレーニングを受講することで実践的なスキルを身につけ「地域コミュニティに貢献できる有資格看護師を増やすプログラム」を支援します。



[詳しくはこちら](#)

# 8億9,000万円

**Jhpiego** がインドで実施するiWINプロジェクトを通じて妊産婦および新生児の死亡率の低下と疾病予防を促進する「母子保健エコシステムの改善を目的とした、女性中心の包括的な取り組み」を支援します。



[詳しくはこちら](#)

# 10億円

**Pathfinder International**が南アジアおよび東南アジアにおいて実施する、「気候変動による女性の健康への影響に対応するための、女性と少女たちへのリーダーシップ強化プログラム」を支援します。



[詳しくはこちら](#)

# 9億9,700万円

**国連人口基金 (UNFPA)** がベナン、コートジボワール、トーゴにおいて実施する、「妊婦の90%以上が質の高い緊急産科・新生児ケアを提供する産科医療施設に2時間以内でアクセスできるプログラム」を支援します。



[詳しくはこちら](#)

## 米国のヘルスケアパートナーとの協働

タケダは、2021年に米国で初めてフィランソロピーCSRプログラム「HELPプログラム」を立ち上げました。初年度は2,000万ドルを拠出し25団体を支援しました。本プログラムは、**H**health（保健）、**E**nvironment（環境）、**L**earning（学習）、**P**roviding（食料提供）を重点分野とし、米国での地域社会における少数派に影響をおよぼす社会的格差を縮小することを目的とした活動を支援しです。タケダのパーパスである「Better Health, Brighter Future」に寄与する多面的なアプローチや、より包括的な健康およびウェルビーイングの視点を通じて、人々の健康増進を目指します。

## Takeda CARE Program（タケダ・ケア・プログラム）

20年にわたって600以上の団体ならびに100万人以上の人々への支援活動を通して得た知見に基づき、タケダは2021年に日本でTakeda CARE Program（タケダ・ケア・プログラム）を立ち上げました。Takeda CARE Programは、Children（子ども）、Adolescents/Adults（青少年/成人）、Resilience（レジリエンス）、Empowerment（エンパワーメント）という言葉の頭文字をとったもので、陽の当たらない社会課題に直面する人々を支援する日本の代表的なプログラムです。本プログラムは長期にわたって展開してきた3つの企業市民活動—災害復興支援、長期療養する子どもとご家族支援、がん患者さん支援に、新たにドメスティックバイオレンスや女性の非正規雇用者の生活など生きづらさを抱える人々への支援を加えて構成されています。20年以上にわたって得られた活動の知見を生かし、見過ごされてきた課題の解決に取り組むことで、多くの人々が健康で前向きに生きる力を育めるよう、支援を届けます。

## これまでの成果

2016年の開始以来、タケダの代表的な「グローバルCSRプログラム」は、20の長期プロジェクトを行う17の国際的な非営利団体に、総額162億円を拠出しています。74カ国にわたる活動は、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」の7つのゴールおよび23を超えるターゲットの達成に貢献しています。



© UN Foundation

# 980万人

以上に直接支援を提供しました。

# 44,679人

以上の有資格の医療専門家およびコミュニティーヘルスワーカーのトレーニングを実施しました。

# 100万人

以上に栄養、水、衛生、性と生殖などの必要とされる教育を提供しました。

# 132地域

遠隔地や支援が届きにくい地域に132以上の医療施設を建設しました。

# 420万人

の子どもたちに、はしかや注目されにくい熱帯病など、予防可能な疾病に対する治療と予防接種を実施しました。

# 1,990万人

私たちのパートナーは、脆弱な立場にある女性や新生児への救命医療の提供、医療従事者へのトレーニング、医療サービスへのアクセス改善、難民への支援強化などを通じ、2027年までに1,990万人への直接支援を提供予定です。



タケダのグローバルCSRの取り組みについては[こちら](#)をご覧ください。